

2020/02/26(水)15:14

授業科目名	フィールドワーク		授業形態	演習
英語科目名	Field Work		開講学期	前期・後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	伊東 辰彦		ナンバリング	6001
科目担当者	伊東 辰彦			
授業の概要	西洋や日本の音楽文化や思想におけるジェンダー的要素について具体的事例を通して学ぶことによって、私たちにジェンダーとはどのような意味があるのか、またそのことについて学ぶことの意義はなんであるのかを共に考える。学生は、単に講義内容を受容するだけではなく、それに基づいて自らの問いを発見し、レポートやグループ・ディスカッションで自らの言葉で意見を表現する機会が与えられる。			
授業の達成目標	西洋や日本の音楽文化や思想と、その歴史に親しみつつ、人間生活において、ジェンダー的要素がどのような意味をもっているのかを学び、また、その学びが、現代に生きる自分自身の存在とどのように関係し得るのかを考えながら、自らの意見を形成し、他者と共有することが求められる。			
成績評価方法	レポート(3 x 10=30%)、グループ・ディスカッション(2 x 10=20%)、最終レポート及び試験(20 + 30=50%、12月1日の第16回に実施)			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	最大登録人数を15人とする。剽窃行為や無断欠席があった場合は、登録を抹消する。また、やむを得ない事情で欠席する場合は、教員にメールなどで必ず事前に連絡すること。			
テキスト・参考書	必読の資料については毎回の講義で配布する。それ以外の基本的な文献については、初回の講義でリストを配布し、内容を説明する。			
オフィスアワー	授業の前後、あるいは所定の時間とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	レポート1-3については授業内で返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	伊東 辰彦	導入、コースの概略の説明、社会や音楽におけるジェンダー的要素についての考察、文献解題(4/14)	【予習と復習】自分たちを取り巻く社会生活の中で、ジェンダー的要素がどのように表現され、作用しているかについて、各自の体験を共有する。(予習90分、復習90分)	
2	伊東 辰彦	西洋の古典音楽とジェンダー(4/21)	【予習と復習】配布した資料を読み、西洋の古典音楽におけるジェンダー的要素について学ぶと共に、現代の我々にとっての意味を考える。(予習90分、復習90分)	
3	伊東 辰彦	ポピュラー音楽とジェンダー(4/28)	【予習と復習】配布した資料を読み、ポピュラー音楽におけるジェンダー的要素について学ぶと共に、現代の我々にとっての意味を考える。(予習90分、復習90分)	
4	伊東 辰彦	日本の伝統音楽とジェンダー(5/12)	【予習と復習】配布した資料を読み、日本の伝統音楽におけるジェンダー的要素について学ぶと共に、現代の我々にとっての意味を考える。(予習90分、復習90分)	
5	伊東 辰彦	レポート1提出;グループ・ディスカッション(5/19)	【予習と復習】第1-4回の講義内容を踏まえて、レポート(最低2000字)を作成し提出する。各自のレポートの内容をグループで共有しディスカッションする。(予習90分、復習90分)	
6	伊東 辰彦	作曲家とジェンダー(5/26)	【予習と復習】配布した資料を読み、何人かの作曲家の活動とジェンダーの関係を学ぶ。(予習90分、復習90分)	
7	伊東 辰彦	演奏家とジェンダー(6/2)	【予習と復習】配布した資料を読み、何人かの演奏家の活動とジェンダーの関係を学ぶ。(予習90分、復習90分)	
8	伊東 辰彦	フィールドワーク「演奏会におけるジェンダー的要素」、「特定の音楽作品におけるジェンダー的要素」、「特定の商業空	【予習と復習】配布した資料を読み、当日の現場での体験を踏まえて、レポート2(最低2000字)を作成し、1週間以内に提出する。各自	

2020/03/24(火)13:25

授業科目名	フィールドワーク	授業形態	講義・実習
英語科目名	Field Work	開講学期	通年
対象学年		単位数	4
科目責任者	平林 正樹	ナンバリング	6001
科目担当者			
平林正樹(実務経験有り) 道谷里英(実務経験有り)			
授業の概要			
<p>本学部の多くの学生は、卒業後に企業・組織への就職を予定していると思われます。企業による採用活動は早期化・多様化している一方で、情報の氾濫によって社会に出るにあたっての不安を感じたり戸惑ったりしている学生もいることでしょう。</p> <p>当科目では、「就活って、何から始めたらいいかわからない」、「自分がやりたいことが決まらない」、「そもそも就職できるだろうか」などの疑問や不安を抱えている学生のみなさんが、職業選択にあたっての正しい情報を修得し、自己理解・企業訪問・仲間づくりといった自律した行動をとって大きく成長することを目的としています。</p> <p>この目的を実現するために、以下の合宿・イベント等への参加を組み込んだフィールドワーク科目として企画されました。</p> <p>①就活キックオフ合宿:就職活動への意識醸成と自己理解を深めることを目的として、ワークショップ、卒業生の体験談、現役社会人によるフィードバック、個別面談などの充実したプログラムによる1泊2日の合宿です(時期:5月30日(土)~31日(日)、場所:東京都府中市を予定。宿泊費(食事代を含む)等の自己負担あり)。</p> <p>②インターンシップ:夏季休暇中に連続3日間以上のインターンシップに、自主的に参加すること。</p> <p>③就職・キャリア支援行事:通年にわたり開催される就職・キャリア支援室主催の行事に、10回以上参加すること(2019年度は、全26回開催されています)。</p> <p>④学生報告会:当科目による1年間の諸活動を振り返り、そこから得た学びや気づきと今後の行動計画を学内で発表します(2021年1月予定)。</p> <p>当科目は、SWT(School to Work Transition:学校から仕事・社会への移行)期の職業選択に焦点を絞った科目です。キャリアデザインⅠ/Ⅱ科目の実践・応用科目として企画され、キャリア教育担当教員と就職・キャリア支援室スタッフ、さらには学外の社会人サポーター等との協働によって運営されます。</p> <p>全ての学年が履修可能ですが、主な履修対象としては就職活動が始まる3年生を想定しています。</p> <p>また、きめ細やかなフォローが必要なことから、履修登録者数の上限を30名に制限をいたします。履修希望者は必ず1回目の授業に参加してください。出席していない学生は履修を認められないことがありますので注意してください。</p>			
授業の達成目標			
<p>次の3つの力を身につけること。</p> <p>1. 職業選択にあたって必要な自己理解・職業理解・企業理解の方法を知り、意思決定する力。</p> <p>2. 満足のいく職業選択に必要な行動を、自律的・主体的に起こす力。</p> <p>3. 同じ目標を持った仲間づくりとおとした、豊かなコミュニケーション能力。</p>			
成績評価方法			
<p>講義、就活合宿、行事、イベント、学内発表会を含むすべてのアクティビティに対する出席・参画度合によって判断します。</p> <p>単位認定には、以下の条件があります。</p> <p>①5月30~31日に実施する「就活キックオフ合宿」(1泊2日)の全行程に参加すること。</p> <p>②就職・キャリア支援室が主催する行事に、2020年度通期で10回以上出席すること</p> <p>③夏季休業期間中に、連続3日間以上のインターンシップに自らの力で参加すること。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>・この科目はフィールドワーク科目ですので、「キャップ制」の対象外です。年間履修登録単位数上限の枠外として、履修登録が可能で す。</p> <p>・この科目は個人ワークやグループワーク、発表等とおして自分と向き合いながら、皆さん自身が進路決定することを応援する科目で す。就活に立ち向かう心構えと自信を手に入れましょう。</p>			
テキスト・参考書			
必要に応じて、適宜紹介します。			
オフィスアワー			

